



《ピエロ》

作 家 東郷青児

制作年 1926年

技 法 油彩・カンヴァス

サイズ 90.8cm×63.4cm

1925(大正14)年に移り住んだパリのモンマルトルで、東郷は30歳を目前に納得のいく画風を作り上げつつありました。

サーカスでおなじみの「ピエロ」は、もとはイタリアの伝統的な喜劇である「コメディア・デッラルテ」の登場人物です。当時のパリで大胆な色と形の衣裳や舞台美術で人気を博したロシアのバレエ団「バレエ・リュス」も、この古典的な演目を上演しました。若い頃からオペラ等の舞台に興味を持っていた東郷 も、パリで度々劇場に足を運びました。



SOMPO美術館
Sompo Museum of Art



《鳥と少女》

作 家 東郷青児

制作年 1971年

技 法 油彩・カンヴァス

サイズ 91.1cm×66.2cm

ふせた長いまつげと薄桃色の唇が印象的な「東郷様式」の典型的な一点です。「東郷様式」とは、評論家の植村鷹千代がまとめた次の3つの特徴のことをさしています。

①誰にでもわかる大衆性

②モダンでロマンチックで優美、華麗な感覚と詩情

③油絵の表現技術にみられる職人的な完璧さと装飾性

(『回顧 東郷青児展』1979年)

東郷は戦後から1950年代末にかけて、このような画風を作り上げました。



SOMPO美術館
Sompo Museum of Art